



でも女の子らしくて可愛い。

「セレナ、毎日の生活の楽しい思い出をこのノートに書いてみてよ。未来のあるときに振り返ってみれば、書いた意味が分かると思うよ。試してみて。でも、楽しいことだけね」

「やってみるね。ありがとう！」

セレナはノートを手にし、その日からノートは^{たからもの}宝物になった。

一日一日と過ぎていった。セレナは相変わらず毎日昼休みにミスエンジェルと秘密基地で遊んでいたが、まだノラと友達になりたいという気持ちがあった。ノートに^{つづ}綴る毎日の